

【AKT秋田テレビ 2022年度第3回放送番組審議会】

秋田テレビの2022年度第3回放送番組審議会（江島清彦会長）が6月27日開かれ、5月28日に放送された「第31回FNSドキュメンタリー大賞ノミネート作品『風を創る』」について審議した。

日本のエネルギー政策は2011年の東日本大震災を機に大きく転換した。秋田県では再生可能エネルギーへの取り組みが全国でも先進的に進んでいる。洋上風力がもたらす秋田への莫大な経済効果が期待されている一方で、漁業者は「自分たちの海はどうなるのか」と不安視する。番組では、洋上風力発電事業によって奮闘する関係者の動きを伝えた。

委員からは、「風力についてより深く知ることができた。」「すごくわかりやすく観ていて面白い番組だった。」「キーワードに“秋田プライド”“風を創る”などネーミングがよく、ポジティブでモチベーションが上がり、夢と希望が持てた。」「主人公（ウェンティジャパン社長 佐藤裕之氏）のひととなりがよくわかり伝わってきた。」「未来に希望を持てる、持たせる番組だった。」

一方で、「風車が建つさまのCG等があれば良かった。」「漁業への影響に関して、他地域での結果が秋田の海にも当てはまるのか科学的な根拠が少なかった。」「住民の生活への影響に関してもよくわからなかった。」といった意見も出された。